

# 笑顔になれる授業をめざして

## 「英語大好き!」 支援学級における フォニックス学習法

泉南市中学校 支援教育研究会 角田英都

ここ数年の間に、中学校の支援学級に在籍している生徒の進学希望先が多様化してきました。

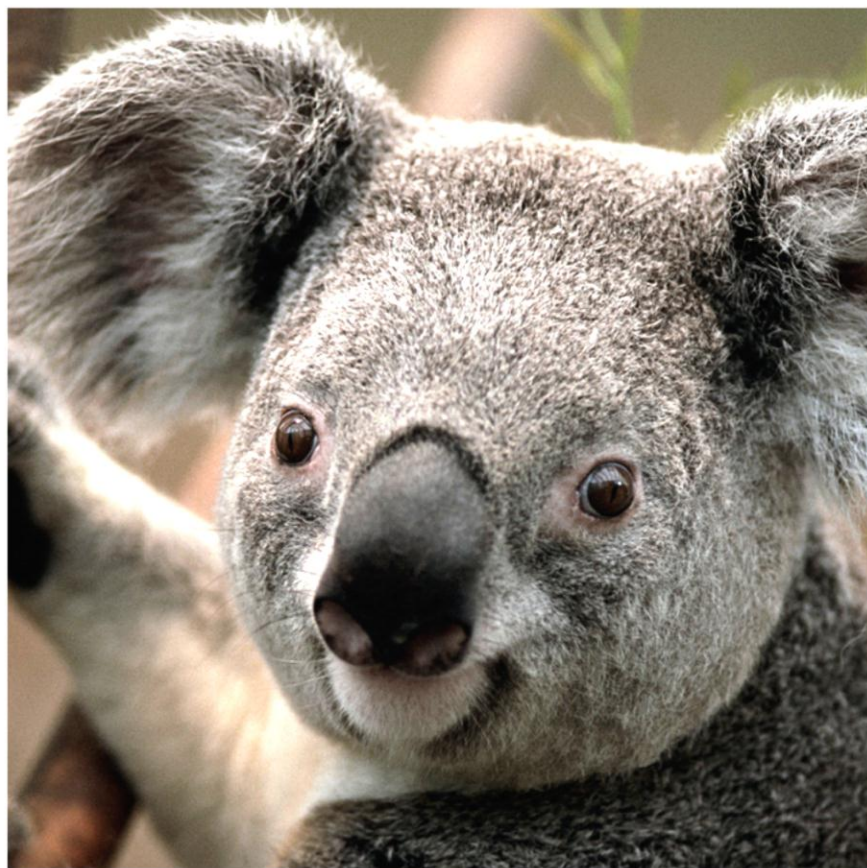
就職を希望する生徒、支援学校や専門学校、定時制高校、全日制の高校など、様々な進路先を希望している生徒のそれぞれのニーズに応じた英語の指導をすることが求められています。しかし、中学入学時には、英語学習が好きだったはずの生徒のほとんどが、文字学習の困難さにぶつかり、英語学習がどんどん嫌いになってしまうという現実があります。

いくらまじめに、長時間にわたる反復学習を重ねても、全く英単語が読めない、書けないという生徒は、アルファベットのひとつひとつの文字と音の関係を理解できていません。そんな生徒には、フォニックス学習法で、フォニックスアルファベットを徹底的に定着させることで、英語への興味を持たせることができるのではないのでしょうか。

私自身が、フォニックス学習法にであったのは、通常のクラスで英語を教えていた頃です。英語を学ぶ生徒からどんどん笑顔が消えていくことに心を痛め、英語教師としての自信を失くしつつありました。先輩の先生やアメリカ人の英語の先生に、フォニックスを教えていただきましたが、自分自身が、学生時代に、全くフォニックス学習法を学んでいなかったのもので、よく理解できず、理解していないものを教えるのに抵抗がありました。

そんな時、松香フォニックス研究所というところが、研修会を開いているとの情報を得たので、思い切って受講してみました。受講してみると、アルファベットの文字と音の関係性をとても楽しく学べるように工夫されていることに感銘を受けました。その後、中学一年生の入門期の授業にも取り入れてみましたが、中学校三年間のカリキュラムの中で、フォニックスのすべてのルールを指導するのは時間的に厳しいものがありました。一定の効果はあげられたものの、通常のクラスでフォニックス学習を続けていくのは難しいと感じざるを得ませんでした。

ところが、支援学級の英語学習では、中学校のカリキュラムにとらわれることなく、ひとりひとりの興味や関心、進路先の希望に応じて英語の指導法を工夫することができるので、ゲームやカルタやビデオなどを使いながら楽しく学習することができます。今では、フォニックス学習法の教材もたくさん市販されているので、使いやすいものを組み合わせて、無理なく取り組める教材を提供するようにしています。支援学級で一年間学習をして自信をつけ、二年生になってからは、通常のクラスで英語の授業を受け、普通高校への進学を目指している生徒もいます。すべての生徒がフォニックスを理解できるというわけにはいきませんが、アルファベットで書かれた文字を指して、得意そうに発音する生徒の笑顔をたくさん見たいので、これからもフォニックス学習法の研究をしていきたいと思えます。



笑顔になれる  
授業をめざして

英語大好き!

支援学級における  
フォニックス学習法

泉南市中学校  
支援教育研究会

# はじめに

- ◎ 4校で授業案や指導法を交流
- ◎ 支援学級の生徒に対する英語指導の壁
- ◎ 絵や写真を見て発音はできるけれど・・・
- ◎ 文字指導には無理がある？

# 支援学級生にとっての英語

入学時のイメージ

ABCを覚えたらわかる教科  
楽しそうな教科



しばらくすると・・・

単語が読めない、書けない。  
難しい教科

# 日本語と英語は覚え方が違う!

- ◎ 日本語 (ひらがな / カタカナ) は、

文字の名前と音が一致している。

- ◎ 英語 (アルファベット)は、

文字の名前と音が一致していない!

# 日本語（ひらがな・カタカナ）

◎ 文字の名前と音が一致している。

◎ 「あ」の名前は 「あ」  
「あ」の音は 「あ」

◎ 「ア」の名前は 「ア」  
「ア」の音は 「ア」

# 日本語の単語

文字の**名前**と**音**が一致しているから

「**あめ**」は 「**あめ**」と読める。

「**アメ**」は 「**アメ**」と読める。

# 英語

## 英語の文字

大文字 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

小文字 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

ABCの歌で覚えられるのは  
アルファベットの文字26個の名前と  
文字の順番だけ



# 英語の単語の難しさ

文字の**名前**と**音**が一致していない。

A a の**名前**は **エイ** 音は **ア**

cat は なぜ、シーエイティーではないの？

dog は なぜ、ディーオウジーではないの？



# フォニックス学習法とは？

◎ フォニックス学習法は、19世紀の終わりに英語圏で開発されました。この学習法が開発されるまでは、英語圏の子どもたちは、丸暗記をしたり、何回も書いたりして、英語の読み書きを覚えていました。というより、強制的に覚えさせられていました。英語のスペリングはこどもの頭痛の種だったのです。フォニックス法の開発により子どもたちは英語の音とそれを表す文字を結びつけ、自分の力で英文を音声化できるようになったのです。

(松香フォニックス研究所の指導書より)

# フォニックス学習法

## 英語の文字と音を結びつける学習法



# 支援学級に適した英語指導

- ◎ 文字に興味を持たせる。
- ◎ 英語の音に親しませる。
- ◎ 身近な英単語を使う。
- ◎ 丸暗記の必要がない。



音声から入るフォニックス学習法が最適!

## これだけは押さえない フォニックスのルール

### ◎ フォニックスアルファベット

アルファベットの文字1つ1つがそれぞれ1つの音をあらわす。

### ◎ 2文字子音

2つの子音がくっついて1つの音をあらわす。

使用教材 松香フォニックス研究所

ACTIVE PHONICS

フォニックスアルファベット シート

フォニックス ビデオ

他のルールについては対象生徒の興味に応じて指導

フォニクスアルファベットの理解



単語を丸暗記しなくても、最初の文字がどんな音を表しているか見当をつけることができる。



単語を読むのが楽しくなる。



2文字子音などのルールにも興味を持つ。



他のルールの指導をする。

# 新しい単語の読みにチャレンジ

フォニックスの基本ルールを覚えたら、楽しいイラストの入った、カタカナのふりがなをふっていない基本的な英単語の絵本などを使って、初めて見る英単語を、ルールを思い出しながら読めるかどうかチャレンジさせます。

できれば、支援学級のみんなで、『最後の単語を読んだら勝ちゲーム』または、『最後の単語を読んだら負けゲーム』すると盛り上がります。



# 楽しくまなぶ 小学生の英単語

## 成美堂出版



- |                |              |                  |                 |               |
|----------------|--------------|------------------|-----------------|---------------|
| 1. supermarket | 8. fish      | 15. cherries     | 22. watermelon* | 29. lettuce   |
| 2. meat        | 9. squid*    | 16. grapes       | 23. vegetables  | 30. onion*    |
| 3. beef        | 10. octopus* | 17. melon*       | 24. cabbage*    | 31. potato*   |
| 4. pork        | 11. shrimp*  | 18. orange*      | 25. corn        | 32. cucumber* |
| 5. chicken     | 12. fruits   | 19. peach*       | 26. carrot*     | 33. pumpkin*  |
| 6. cheese      | 13. apple*   | 20. pear*        | 27. eggplant*   | 34. spinach   |
| 7. ham         | 14. banana*  | 21. strawberries | 28. lemon*      | 35. tomato*   |

● 買いたいものの売り場を店員に聞きましょう。( \*印の語は-(e)s をつけます )  
 I'm looking for some ( oranges ).

☆ What are you going to buy? — I'm going to buy some ( )

# 『単語読みゲーム』のやり方

- ① 何個の単語まで読んでもいいかどうかを決める。  
(2個～5個までが適当でしょう。)
- ② 読む人の順番を決める。(二人でもできます。)
- ③ スタートの方は、決めた数以内の単語を好きなだけ読み、最後に、読み終えた合図として、『以上』と言う。
- ④ 次々にそれぞれの方が、決められた数以内の単語を読む。
- ⑤ 最後の単語を読んだ人が負け(または勝ち)。

# 生きる力としての英語力

- ◎ 現代の日本社会においては、どこに行っても、アルファベットで書かれた看板や商品名があふれかえっているといっても言い過ぎではないだろう。日本語表記だけの商品を見つけることのほうが難しいくらいである。英語の文字が読めるのと、読めないのとでは、生きる力が大きく変わってしまうであろう。
- ◎ 生涯にわたって、英語の歌を聞いたり、歌ったりする楽しさ、英語で会話することの楽しさも味わって欲しい。

# 卒業後の進路選択に応じて

## ☆就職する場合

英語の商品名や、品番のアルファベット表記がスラスラ読めれば、就職に有利。

## ☆進学する場合

進学先の英語の授業についていけるだけの力をつけなければならないが、英語が読めるようになれば、書くことへの抵抗もなくなり、文法問題などにも取り組みやすくなる。

# 終わりに

## ◎ 支援教育研究会の成果

指導上の悩みを相談することができた。

指導法や教材に関する情報交換ができた。

## ◎ 今後の課題

うまくいった指導法は、他校にも広めていく。

4中学校合同での活動に取り組んでいく。